



「たからのもりって、たからものがいっぱいあるよねー」

春が近づいてきました。菜園に野菜を植え付けるために耕耘機で耕していたところ、ボロン……と、でっぴりと太ったトノサマガエルが出てきました。冬眠していたところを少し早めに起こしてしまったようです。まだ眠たいのかじっとしていましたのでビオトープの近くに置いて枯葉をかけてやりました。どうしているかなー？と次の日に見に行きましたが、もうおりません。きっともう少し心地の良い寝床を探しに行ったのでしょうか。たからのもりではメジロが桃の花をついばんでいます。風もやわらかです。

風の子便り



KAZENOKO DAYORI

滋賀大学教育学部附属幼稚園

大きくなるっていうことは

4歳児が、先生や友達を誘ってリレーをして遊んでいます。「大きい組になる」ということでしょうか。ラインも自分たちで引きたいようで任せてみますと、たからのもりの中までずんずん入っていきます。いくなればクロスカントリーリレーといったところです。

「せんせいも入ってー」と、誘っていただきましたので、仲間入りしました。が、なかなか優れたコースです。足元は起伏があり、枝が行く手を邪魔します。木の幹の間を縫うようによけたりかがんだりしながら走り抜けます。

幼児期の運動遊びにおいてとーっても大切な「多様な動き」もてんこ盛りに入っています。

憧れから始まったリレー遊びで、自分たちでより楽しい遊び方を考えた4歳児の子供たち。

「自分(たち)でできること」がずいぶんと増え、「大きくなる」ということを、身をもって感じているようです。

修了 おめでとう!



卒園に向けて忙しくなってきた5歳児さん。幼稚園での毎日をふりかえり、「最後にあの遊びをしよう」と、一人一人が楽しかった遊びを振り返って、みんなで遊んだりしています。描いたりつくったりしたものを持って帰ったり、4歳児、3歳児へのプレゼントをつくったり、いよいよ卒園が近づいてきました。

「小学校でどんなことを楽しみにしてる？」と、子供たちに聞いてみました。「勉強が楽しみ」「算数と図工」「体育が楽しいんだって」とか、「給食！私全部食べられるようになったー！」とか、ちょっぴりの不安はあるけれども大きな期待をもっているようです。

「さあいこう！」修了を迎える子供たちにはそう伝えたいと思います。これから出会うたくさんの「はじめて」のことにも、期待と勇気をもって羽ばたいてくれることだと思います。一さあ行こう いっぱいの希望と夢を抱えて君の未来へー 『七色アーチ』より





～副園長のおしゃべり～

高校球児だった僕。先日、OB 会を開催し、先輩後輩まじえて昔話を楽しんでいたところ、「最強世代」と言われた学年（僕らの 2 コ下）でエースだった H 君が、「大矢さんが初めて僕の球をブルペンで受けてくださった時、めっちゃいい音で受けてくださって、高校でもやっていけると自信をもちました」「ピンチでリリース登板した時も、『何も考えんでいい、俺のミットだけをめがけて投げたらいい』と言ってもらえてよし！がんばれると思いました」と、何度も言うてくれました。僕は彼の勇気になっていたようです。

自分の日ごろの言動が、誰かの「なにか」になっている。互いに関わりあって暮らす私たちは、きっと意識のあるなしに関わらず影響を受け与えて暮らしているのだと改めて思いました。自分が誰かのなにかになっている。これは人として生きていくことの一つの意味なのかもしれません。僕からの「なにか」が誰かにとってのポジティブな「なにか」でありたいな。子供たちを前にそんなことを思う 3 月です。

（野球のニッチな話ですみません。わからなければ周りの野球が好きな人に聞いていただければ^^;）

季節のアルバム



クロスカントリーリレー！木々の間を縫ってデッドヒート。距離が長いので大きな差がつくこともありますが、そんな時はちょっと休憩しながら。



なかなか家では見ることができないだろう七段飾り。ひな祭りのいわれを聞いたり、それぞれのお役目を聞いたり、日本の伝統行事。



5 歳児の最後の給食。みんなで同じものを食べることのうれしさを感じた 1 年でした。色々なものが食べられるようになりました。



先生が回したときは上手に回してくれるのに、どうして自分たちではうまくできないだろう…。！先生と同じ背の高さになったらいい！



もうすぐ春が来るんだよ！だって、チューリップの芽が大きくなって来てるんだから！自然の声から季節の移り変わりを知ることができます。



5 歳児の最後の歌『ありがとう心をこめて』いつも見守ってくださったおうちの方へ、ありがとうの気持ちをいっぱいに入れて歌います。

子供たちのことを「童」と呼びます。子供たちのまっすぐな目を「瞳」と書きます。子供たちの心を「憧」と書きます。時々立ち止まって、少しずつ進んでいくことを「歩」と書きます。童心を忘れず、まっすぐな瞳で、疲れた時は立ち止まって周りを見渡して、また元気に一歩ずつ進んでいきましょう。少し早めですが、修了おめでとうございます。そして、来年度も元気に楽しく！ん？元気だったら楽しい、か。いや、楽しいから元気になるのか・・・？ 卒園してからも、進級してからも、引き続きよろしく願います。たくさんのコメントありがとうございました！

